

東 中 学 区

1 はじめに

「夢に向かいたくましく生きる児童生徒をともに育てる小・中連携はどうあればよいか」というテーマのもと、小・中のよりよい連携のあり方を模索してきた。「東地区小・中連携部会」「児童生徒交流会」の2つを柱として行った。

2 今年度の取組

月 日	実 践 内 容	月 日	実 践 内 容
4月26日	第1回連携委員会 今年度の活動の決定	2月	第2回連携委員会 来年度の活動について
9月9日	東地区小・中連携部会（東中）	3月	学級編制会議
10月24日	児童生徒交流会		

3 活動の実際

(1) 東地区小・中連携部会

授業参観と分科会が行われた。東中生の真剣に授業に取り組む姿が見られた。また、分科会は校長部会・事務部会・養教部会と、テーマごとに第1～3分科会に分かれての話し合いがもたれた。特に第2分科会では、小学校5・6年生と中学生の「あいさつ」についての共通のアンケートの集計を基に話し合わせ、各小学校と中学校のあいさつ運動による交流を実施することや、「あいさつ強調運動」を毎月共通の期間に設定することなど、あいさつ運動によって連携を深めていくことが決められた。

- ① 授業参観 各学年の授業を各小学校の先生方が自由に見るという形式で行った。
- ② 分科会 (各テーマについて各小・中学校から話題提供された)
 - 第1分科会テーマ 「自分の思いを表現させる指導の工夫について」
 - 第2分科会テーマ 「校外での「あいさつ」の指導について」
 - 第3分科会テーマ 「中学校1年生の情報交換について」 (桂城・有浦・長木雪沢の3部会)

(2) 児童生徒交流会

来年度入学予定の4小学校の児童が中学校を訪問した。今年度から「授業参観」ではなく「授参加」とし、児童と東中生が一緒に授業を体験するという形式に変更した。また、授業の後は生徒会主催の集会で交流した。集会では、クイズとゲームにより明るい雰囲気での交流することができた。またその後、生徒会執行部員の案内で、放課後の各部活動を見学した。



【児童生徒交流会の授業参加】

4 おわりに

今年度は、児童生徒交流会で小学生が中学生と授業を一緒に体験することによって、児童生徒の交流をより深めるものとすることができた。東地区小・中連携部会においては、さらに活動の見直しを行っていききたい。また、例年3月に行っている学級編制会議においては、非常に有意義な情報交換が行われており、こちらはぜひ継続していききたいと考えている。